

2 中学校

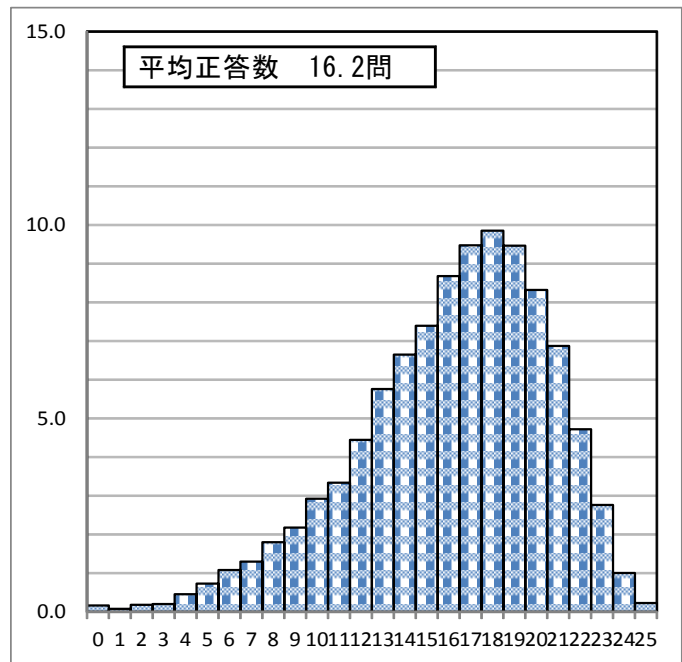
(1) 国語

【第1学年】

実施生徒数	10,578 人
設問数	25 問
平均正答率	64.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	66.1
	主として「活用」	5	59.3
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	58.8
	書くこと	2	40.0
	読むこと	5	63.7
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	17	65.8
評価の 観点	話す・聞く能力	2	67.5
	書く能力	2	40.0
	読む能力	4	71.2
	言語についての 知識・理解・技能	17	65.8
問題形式	選択式	10	68.5
	短答式	13	65.6
	記述式	2	40.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



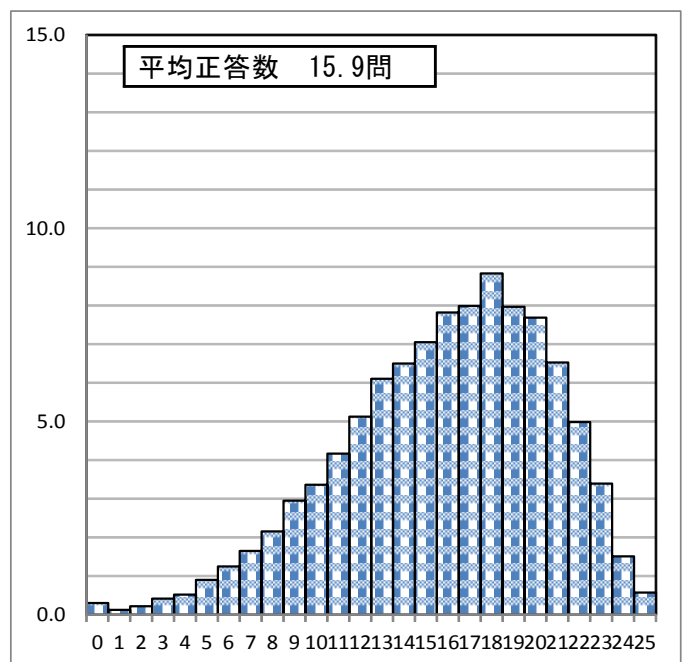
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,683 人
設問数	25 問
平均正答率	63.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	21	67.8
	主として「活用」	4	41.0
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	68.3
	書くこと	2	36.4
	読むこと	6	63.8
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	16	65.0
評価の 観点	話す・聞く能力	2	64.8
	書く能力	2	36.4
	読む能力	5	60.1
	言語についての 知識・理解・技能	16	67.8
問題形式	選択式	11	62.2
	短答式	12	68.0
	記述式	2	36.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、相当数の生徒ができています。
 - ・「呼吸」(中1^{こきゅう}2-1 : 98.3%)、「敬う」(中1^{うやま}4-2 : 83.2%)
 - ・「歓声」(中2^{かんせい}1-1 : 96.7%)、「鮮やか」(中2^{あざや}4-3 : 91.1%)
- 1・2年生において、文脈に即して接続詞を適切に使うことについては、相当数の生徒ができています。(中1^二2 : 91.8%、中2^二1 : 82.0%)
- 1年生において、話し合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、相手の発言を聞いたりすることについては、相当数の生徒ができています。

(中1^三5 : 86.2%)
- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題が見られる。
 - ・「しょうたい(招待)」(中1^四4-3 : 50.3%)
 - ・「きぼ(規模)」(中2^四4-1 : 54.5%)

H29 中3 全国調査(県平均) 68.0%「文脈に即して漢字を正しく書く」
- 1年生において、事象や行為などを表す多様な語句を理解することに課題が見られる。
 - ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと(中1^四2-2 : 37.6%)
 - ・話し合いの記録として適切な言葉を考えること(中1^五1 : 23.5%)

H29 中3 全国調査(県平均) 36.9%「事象や行為などを表す多様な語句を理解する」
- 2年生において、文章全体の構成を捉えることに課題が見られる。

(中2^二4 : 44.1%)
- 1・2年生において、条件に即応して記述することに課題が見られる。
 - ・意図に沿った語句を選択し、理由について説明すること(中1^五4 : 33.6%)
 - ・登場人物の心情を捉え、本文を根拠に自分の考えをまとめること

(中2^一5 : 34.9%)

 - ・詩の表現技法に着目し、その効果を説明すること(中2^五3 : 37.9%)

H29 中3 全国調査(県平均) 42.7%「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【中学校1・2年生】

(中学校1年生)

- 事象や行為などを表す多様な語句を理解することに課題が見られる。

○ () 中のア～エのうち、最も適切なものをそれぞれ一つ選びなさい。

(ア たてこめる イ たちならぶ ウ たなびく エ たたずむ) 雲の間から、春の光がもれている。

【正答】 ウ

中1 : 37.6%

(中学校2年生)

- 条件に即応して記述することに課題が見られる。

○ 西村さんは、次のページにあるようなふるさとの童謡詩人金子みすゞの「星とたんぽぽ」の【魅力を紹介するチラシ】をつくることにしました。次の条件1、2にしたがって「星とたんぽぽ」の魅力を書きなさい。

条件1 「星とたんぽぽ」の魅力を紹介するために、「比喩」か「反復」か、どちらかの表現技法を取り上げて書きなさい。なお、取り上げた技法について、解答用紙の「比喩」か「反復」を○で囲みなさい。

条件2 条件1で取り上げた表現の例を「星とたんぽぽ」から引用し、60字以上、80字以内で魅力を書きなさい。

【正答例】

「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」を繰り返すことにより、見えないけれども存在する大切なものがあるという自分の思いを強調しています。

中2 : 37.9%

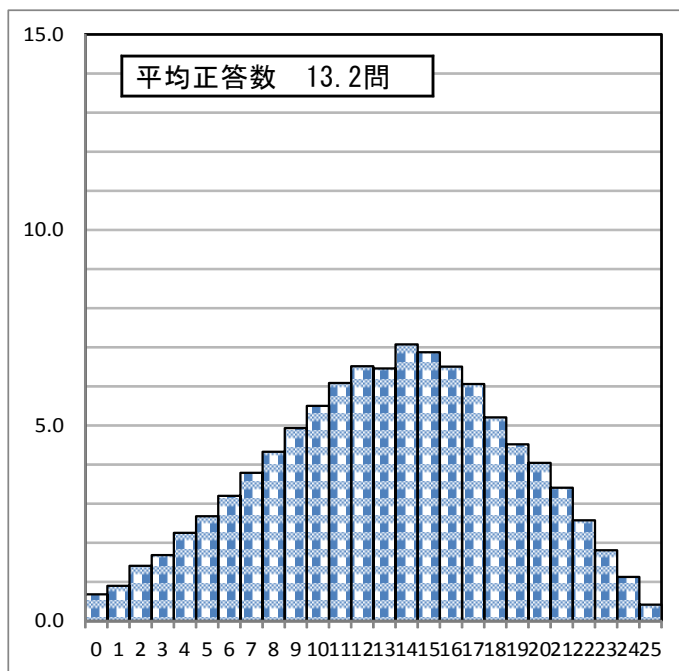
(2) 数学

【第1学年】

実施生徒数	10,565 人
設問数	25 問
平均正答率	52.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	55.8
	主として「活用」	5	40.0
学習指導 要領の 領域等	数と式	17	50.8
	図形	3	45.8
	関数	2	57.8
	資料の活用	3	66.5
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	37.0
	数学的な技能	14	61.9
	数量や図形などについての 知識・理解	5	45.7
問題形式	選択式	3	44.8
	短答式	20	55.5
	記述式	2	36.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



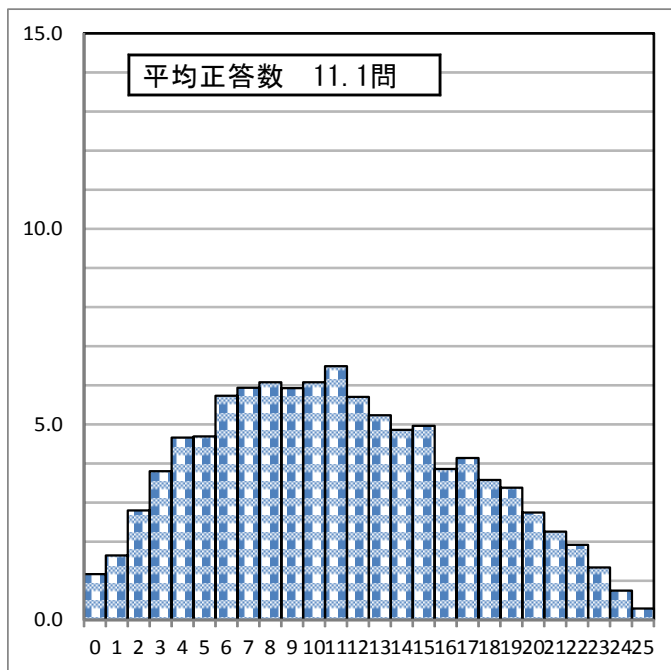
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,682 人
設問数	25 問
平均正答率	44.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	51.9
	主として「活用」	8	28.7
学習指導 要領の 領域等	数と式	16	43.1
	図形	4	38.2
	関数	3	64.4
	資料の活用	2	37.3
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	29.3
	数学的な技能	12	50.5
	数量や図形などについての 知識・理解	7	46.9
問題形式	選択式	4	61.8
	短答式	19	42.0
	記述式	2	22.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な内容の理解に、おおむね成果が見られる。
 - ・小数の減法の計算をすること (中1 1)(1)89.6%)
 - ・反比例の表を完成すること (中1 5)(1)78.5%)
 - ・整式の加法と減法の計算をすること (中2 2)(1)79.8%)
 - ・比例のグラフの特徴を理解すること (中2 5)(1)84.9%)

- 数量の関係を見いだすことに、理解が見られる。
 - ・事象における数量の関係を見いだすこと (中1 10)(1)82.2%)

- 基本的な内容の一部について、理解に課題が見られる。
 - ・数の集合と四則計算の可能性について理解すること (中1 1)(7)36.6%)
 - ・比から縦、横の長さを求め、長方形の面積を求めること (中1 2)(2)21.9%)
 - ・道のりと時間から速さを求めること (中1 2)(3)26.5%)
 - ・図形のまわりの長さを求めること (中1 6)(1)10.3%)
 - ・絶対値の意味を理解すること (中2 1)(3)40.3%)
 - ・与えられた式にあう場面を選択すること (中1 3)(1)48.7%、中2 3)(1)55.7%)

- 割合を用いて数量の関係を表すことに課題が見られる。
 - ・基準量を求めること (中1 4)(2)49.2%、中2 2)(5)48.3%)
 - ・同じ半径の円の面積と球の表面積を比較すること (中2 7)(2)19.9%)
 - ・与えられた情報を適切に処理し、基準量を求めること (中2 8)(1)25.5%)

- 文字を用いた式で表すことに課題が見られる。
 - ・ともなって変わる数量の関係を式に表すこと (中1 5)(2)37.2%)
 - ・事象における数量の関係を見だし、一般化した式をつくること (中1 10)(2)10.0%)
 - ・数量の関係を文字式で表すこと (中2 2)(2)21.1%)
 - ・与えられた情報を適切に処理し、場面に応じた式を立てること (中2 8)(2)19.9%)
 - ・文字式を用いて、根拠を明らかにして説明すること (中2 11)(2)20.8%)

- 与えられた情報を正確に読み取り、筋道を立てて考えることに課題が見られる。
 - ・指数を用いて、求めた数を正しく表すこと (中2 9)(1)27.7%)
 - ・同じ数の積の特徴を読み取ること (中2 9)(2)13.6%)

- 日常的な事象等を数学的に解釈して説明することに課題が見られる。
 - ・具体的な事象について、公倍数を使って説明すること (中1 8)(1)44.5%)
 - ・数量の關係に着目して説明すること (中1 10)(3)28.0%)
 - ・回転移動を正しく説明すること (中2 7)(3)12.5%)
 - ・中央値の意味を理解し、正しく説明に用いること (中2 10)(2)24.0%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

数学【中学校1・2年生】

(中学校1・2年生)

- 基準量を求めることに課題が見られる。

次の図のように、赤いテープの長さは白いテープの長さの1.2倍でした。

赤いテープの長さを a cm とするとき、白いテープの長さを表す式を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア $a - 0.2$ (cm)
 イ $a \div 1.2$ (cm)
 ウ $a \times 1.2$ (cm)
 エ $a \times 0.2$ (cm)

【正答】 イ

中1 : 49. 2% 中2 : 48. 3%

(中学校1年生)

- 事象における数量の関係を見だし、一般化した式をつくることや、数量の関係に着目して説明することに課題が見られる。

10 断下にある掲示板に、画びょうを使ってプリントを掲示します。1枚のプリントは【図1】のように6個の画びょうでとめ、2枚以上のプリントは、【図2】のように、1枚目の右側に横1列に並べ、プリントの端を一定の長さだけ重ねて画びょうでとめるようにします。

山口さんと下松さんはプリントを掲示するときに必要な画びょうの個数について、話し合っています。

山口さん「1枚のプリントを掲示するには6個の画びょうがいるね。2枚のプリントを掲示するには何個の画びょうが必要になるかな。」
 下松さん「プリントの端を重ねて画びょうでとめるので、10個の画びょうが必要になるね。」
 山口さん「それでは、プリントが3枚の場合はどうなるかな。」
 下松さん「プリントが3枚だと、14個の画びょうが必要になるね。」
 山口さん「つまり、プリントが1枚増えるごとに、必要な画びょうが(ア)個増えるということだね。それなら、プリントが4枚以上になっても、画びょうが何個必要かを求めることができそうだね。」

(2) 山口さんは、4枚のプリントを掲示するときに必要な画びょうの個数を求めるために、次のような表をつくりました。

プリントの枚数 (枚)	必要な画びょうの個数 (個)
1	6
2	$6 + 4 \times 1 = 10$
3	$6 + 4 \times 2 = 14$
4	$6 + 4 \times 3 = 18$

山口さんは上の表から、 n 枚のプリントを掲示するときに必要な画びょうの個数が、次の式で表されることに気づきました。 、 に n を使った式を入れなさい。

$6 + 4 \times (\text{イ})$ 個 となり、この式を簡単にすると 個 となる

(3) 下松さんは25枚のプリントを掲示するために、画びょうを100個準備しました。【図2】のように、25枚のプリントを掲示するとき必要となる画びょうの数を求め、画びょうが100個で足りるかどうかを説明しなさい。

【正答例】
 (1) 4 個 (2) イ : $n - 1$ ウ : $4n + 2$
 (3) 25枚のプリントを掲示するとき、必要な画びょうの個数は $4 \times 25 + 2 = 102$ で、102個である。
 下松さんが準備した100個よりも、2個多く必要である。
 したがって、25枚のプリントすべてを掲示するためには画びょうはたりない。

中1 : (1) 82. 2%、(2) 10. 0%、(3) 28. 0%

(中学校2年生)

- 回転移動を正しく説明することに課題が見られる。

次の図のように、正六角形ABCDEFにおいて、点Aと点D、点Bと点E、点Cと点Fを結び、3つの線分が1つの点Oで交わっている。また、できた正三角形6個をア、イ、ウ、エ、オ、カとする。

このとき、点Oを回転の中心として1回の回転移動で正三角形オを正三角形ウまで、移動する。正三角形オは、どのような回転移動によって正三角形ウに重なりますか。「点Oを中心として、」に続けて書きなさい。

【正答例】
 点Oを中心として、時計回りに120°回転移動する。

中2 : 12. 5%

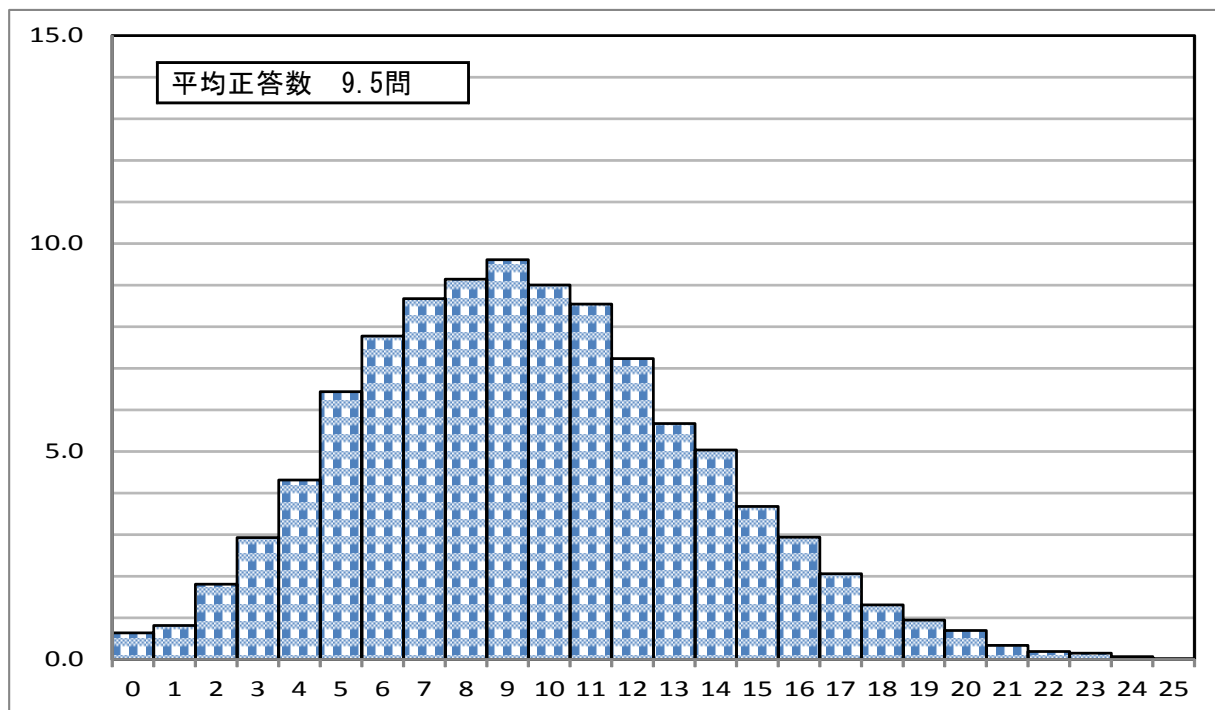
(3) 社会

【第2学年】

実施生徒数	10,687 人
設問数	25 問
平均正答率	38.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	45.7
	主として「活用」	10	26.8
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	1	86.8
	世界各地の人々の生活と環境	3	32.5
	世界の諸地域	5	54.6
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	3	51.6
	世界と比べた日本の地域的特色	1	44.6
	歴史のとらえ方	1	44.9
	古代までの日本	5	20.2
	中世の日本	6	32.0
	近世の日本	4	16.9
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	6	28.4
	資料活用 of 技能	7	41.5
	社会的事象についての知識・理解	12	41.1
問題形式	選択式	9	41.0
	短答式	8	49.9
	記述式	8	23.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 世界地図から、必要な情報を正しく読み取ることができる。
 - ・ 東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ること (3)(1)86.8%)
- 資料から、世界各地の人々のくらしの様子に関する情報を正しく読み取ることができる。
 - ・ 分布図から、世界の主な宗教の分布を読み取ること (4)(1)75.9%)
- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。
 - ・ ニースの気候の特色を表している雨温図として適切なものを選び、選んだ理由を記述すること (3)(2)7.0%)
 - ・ 江戸幕府の収入源を、幕府の直轄地と関連付けて説明すること (7)(2)7.9%)
- 記述式問題に課題が見られる。
 - ・ 特色ある自然環境（寒帯）と生活様式（住居）を関連付けて説明すること (4)(2)14.5%)
 - ・ 楽市令の目的を、時代背景と関連付けて説明すること (6)(3)9.4%)
 - ・ 国風文化の特徴について、平安時代の中国との関係と関連付けて説明すること (8)(2)11.3%)

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

社会 【中学校2年生】

- 資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報を関連付けて説明することに課題が見られる。

(2) ニースの雨温図に当たるものを、次の1～4の雨温図から一つ選び、番号で答えなさい。また、ニースがその雨温図であると答えた理由を説明しなさい。
<雨温図は略>

【正答例】

(2) 高緯度の割に冬が温暖で、夏に乾燥しているという地中海性気候の特色を読み取ることができるから。

中2：7.0%

(2) 江戸時代に中国銭が使われなくなり、国内の金貨や銀貨などで対応できるようになったのはなぜか、資料6の中から関係のある地名を具体的に取り上げ、説明しなさい。

資料6 おもな幕府の直接の支配地(幕領)

・蝦夷地
・京都 ・大阪 ・奈良 ・長崎
・佐渡 ・生野 ・石見 など 約400万石

【正答例】

(2) 幕府が佐渡の金山や生野、石見の银山などを直接支配し、貨幣の鑄造権を握っていたから。

中2：7.9%

- 記述式問題に課題が見られる。

(3) 表中の(い)の人物(=織田信長)は、下の資料にあるような「楽市令」を出している。「座」がどのようなものか説明した上で、このような命令を(い)の人物が出した理由を説明しなさい。

資料5 楽市令(1577年)

一 この安土の町は楽市としたので、いろいろな座を廃止し、さまざまな税や労役を免除する。

【正答例】

(3) 商工業者の同業者団体である座の独占的な営業をやめさせ、商工業を活発にするため。

中2：9.4%

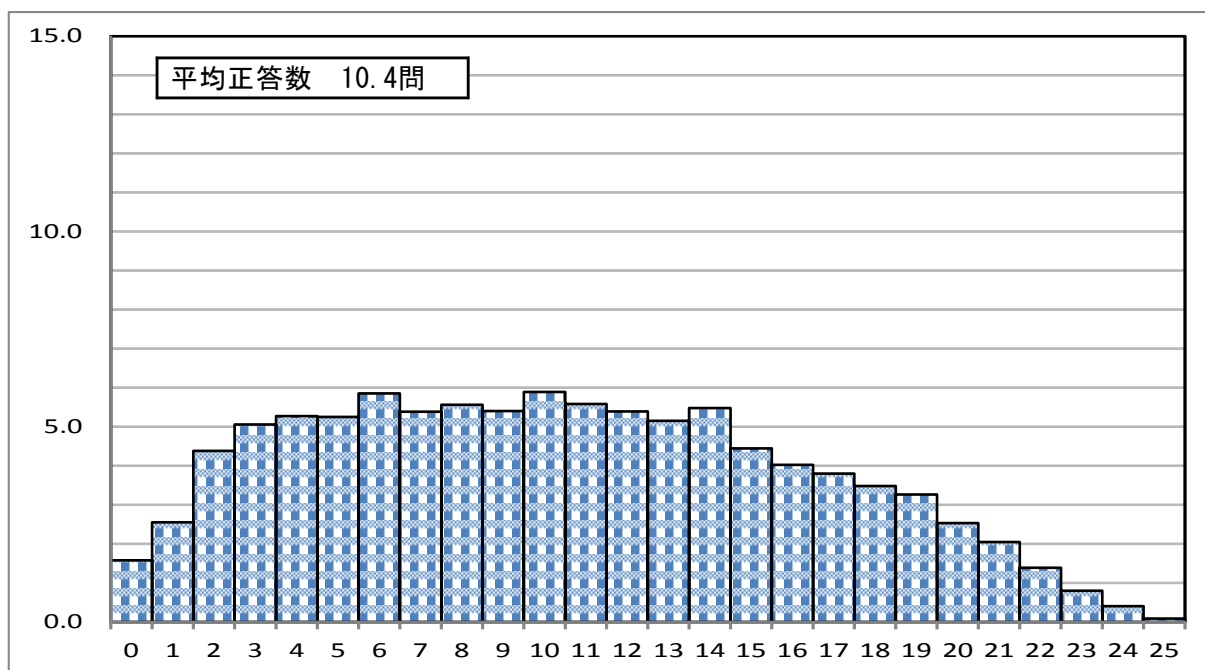
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	10,666 人
設問数	25 問
平均正答率	41.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	47.7
	主として「活用」	11	34.1
学習指導 要領の 領域等	物質	11	39.4
	エネルギー	4	47.0
	生命	6	44.6
	地球	4	38.3
評価の 観点	科学的な思考・表現	11	34.1
	観察・実験の技能	3	56.2
	自然事象についての知識・理解	11	45.4
問題形式	選択式	8	48.1
	短答式	9	39.6
	記述式	8	37.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 実験結果の表から反射の法則を見出すことに成果が見られる。
 - ・ 実験結果から規則性を見出すこと (6)(1)80.7%

- 化学領域の基本的な用語を使って説明することに課題が見られる。
 - ・ 状態変化と化学変化について、原子、分子の視点から説明すること (1)(2)13.0%

- 物質の状態を原子や分子のモデル数に着目して表すことに課題が見られる。
 - ・ 分子の状態をモデル図で表すこと (1)(3)21.5%

- 計算によって得られた数値を条件に合わせて利用することに課題が見られる。
 - ・ 実験結果を数値で捉えて分析し、考察すること (2)(2)4.3%

- 密度が表す意味を理解し、密度の違いを利用して物質を特定することに課題が見られる。
 - ・ グラフから物質の密度を読み取り、同定すること (5)(2)23.3%
 - ・ 物質の浮き沈みは、水と比較した密度の大小により決まること (5)(3)28.8%

- 反射の法則を利用して、鏡を通して物体が見えるしくみを理解することに課題が見られる。
 - ・ 反射の法則から鏡に反射して見える範囲を見出すこと (6)(3)21.6%
 - ・ 鏡に反射する光の道筋を正しく作図すること (6)(4)38.2%

- 火成岩やたい積岩の特徴を理解することに課題が見られる。
 - ・ 凝灰岩と砂岩のつくりの違いを理解すること (7)(4)8.3%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【中学校2年生】

- 計算によって得られた数値を条件に合わせて利用することに課題が見られる。

2 山口さんは小学生のとき、生き物係として花びんの水をかえたときに、花びんの水の減り方が早いと感じたことがあった。このときの現象が、中学校の理科の授業で学習している「蒸散」とつながりがあると分かり、さらに興味をもった。

授業で、植物の体のどの部分が蒸散をさかんにに行っているのかを調べることになり、下の図1のA～Cの条件で一定時間に葉から蒸散する水の量を調べる実験を行い、結果を表1にまとめた。用いた植物の葉の大きさや枚数、茎の長さや太さが等しいものとして、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(2) 表1から、葉の表側と裏側を比較したとき、一定時間に蒸散した水の量は、どちらが何 cm^3 多いか、計算により求めなさい。

図1

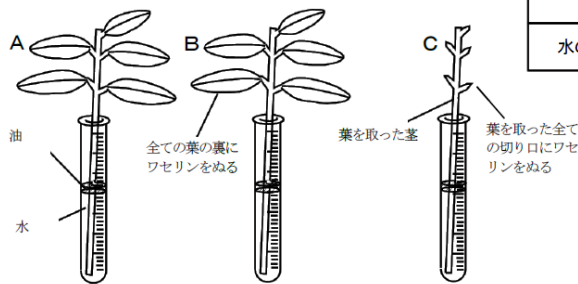


表1

記号	A	B	C
水の減少量 (cm^3)	3.8	0.6	0.2

※水面からの水の蒸発を防ぐために、A～Cの全ての試験管に油を入れた。

【正答例】

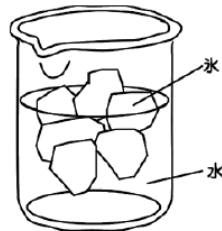
(裏側)の方が (2.8 cm^3) 多い。

中2 : 4.3%

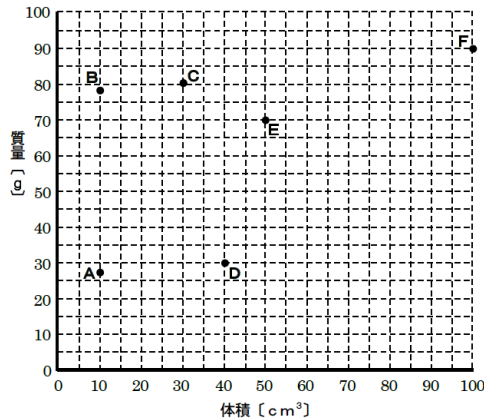
- 密度が表す意味を理解し、密度の違いを利用して物質を特定することに課題が見られる。

5 山口さんは、氷が水に浮くのはなぜか疑問に思っていた。中学生になり、理科の授業で、物質の密度の大きさを調べると液体への浮き沈みがわかることを学んだ。

下のグラフは、物質A～Fについて、それぞれの体積と質量を測定し、結果をグラフ上に示したものである。水の密度を 1 g/cm^3 として、(1)～(4)の問いに答えなさい。



(2) 物質A～Fの中で、同じ種類の物質からできているものがある。どれとどれか、記号で答えなさい。



【正答例】

AとC

中2 : 23.3%

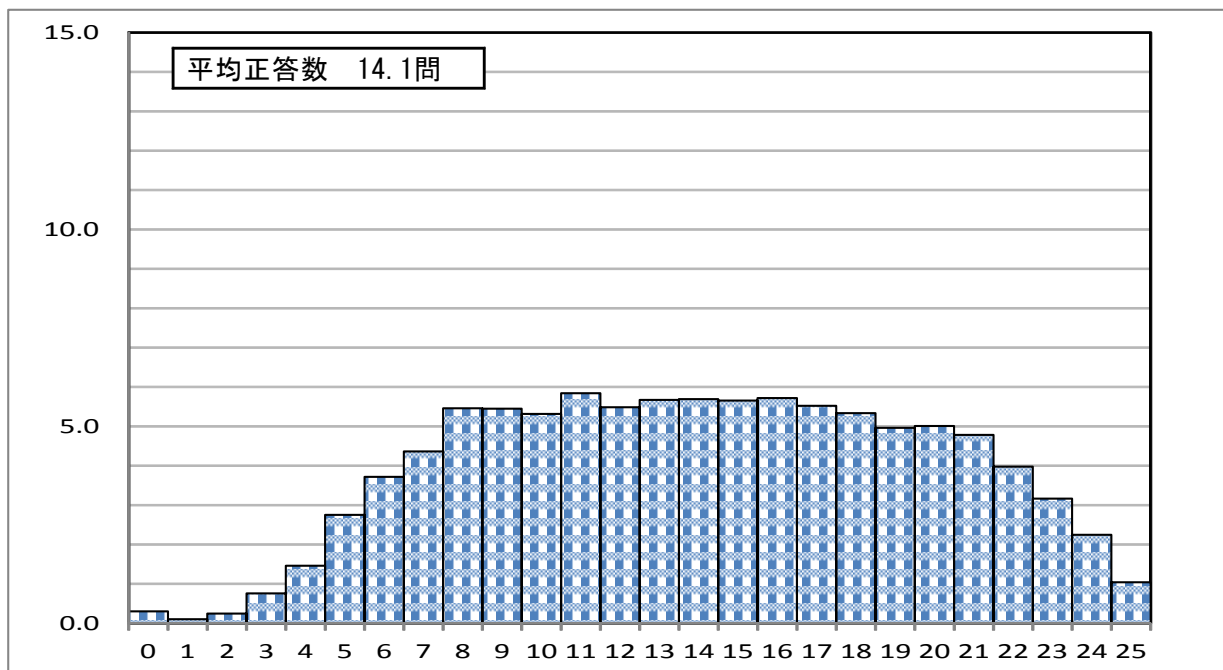
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	10,685 人
設問数	25 問
平均正答率	56.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	62.7
	主として「活用」	5	30.4
学習指導 要領の 領域等	聞く	8	71.3
	読む	12	56.9
	書く	5	21.8
評価の 観点	外国語表現の能力	5	30.4
	外国語理解の能力	17	63.1
	言語や文化についての知識・理解	3	60.3
問題形式	選択式	16	68.0
	短答式	2	30.5
	記述式	7	36.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 英語を聞いて、絵の状況を適切に表現しているものを選ぶことは、相当数の生徒ができています。
 - ・ 絵の中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (1)(2)92.4%
- 英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な単語を選ぶことは、相当数の生徒ができています。
 - ・ 動作を行う時間を表す際に必要となる前置詞(at)を選ぶこと (4)(1)85.3%
- 英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な単語を、既習の学習内容を活用して選ぶことに課題が見られる。
 - ・ “Mike doesn’t like swimming very much. Mike’s friends are going to go swimming, but he ().” という問いに “isn’t” を選ぶこと (4)(3)23.9%
- 前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書くことに課題が見られる。(場面に応じた表現)
 - ・ 味噌汁の作り方を尋ねる英文を書くこと (7)(2)19.1%
 - ・ 動物園で楽しく過ごした理由となる英文を書くこと (7)(3)24.1%
- 英文を読み、その内容に関する質問の答えを考え、空所に入る適切な語を答えることに課題が見られる。
 - ・ “When did Amy come to Japan?” という質問に “On September 15. (15th, fifteen, fifteenth)” と答えること (8)(1)ア 12.3%
- 条件に合うように内容を考えて英文を書くことに課題が見られる。
 - ・ ALTと話したい話題を英語で書き、その話題に対して質問する英文を5語以上で書くこと (8)(4)32.8%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語【中学校2年生】

- 前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書くことに課題が見られる。

7 次のそれぞれの対話文の（ ）に合う4語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(2) 場面：ナナは、家庭科クラブでALTのブラウン先生にみそ汁(miso soup)を作りました。

Ms. Brown: Nana, you *made this?

I like miso soup, but I don't know *how to make it.

()?

Nana: I put *dashi*, *tofu* and *miso* in the *hot *water.

Ms. Brown: Oh, I see! Thank you. Can I eat this?

Nana: Sure.

(注) made : make の過去形 how to～ : ～の仕方 hot : 熱い water : 水

【正答例】 How do you cook it? / How did you make it? など

中2 : 19. 1%

- 英文を読み、その内容に関する質問の答えを考え、空所に入る適切な語を答えることに課題が見られる。

8 次のミカの英語のスピーチ原稿を読んで、次の問いに答えなさい。

Hello, everyone. I'm Kato Mika. I'm going to talk about our new *ALT.

On September 18, Ms. Yamada, our English teacher *said, "The new ALT is going to come to our class tomorrow. She came to Japan from America three days ago. Let's study English with her."

The next day we were *waiting for the new ALT. Then she came to our class. I was very *surprised. She *looked Japanese. She said, "Hello, everyone. My name is Amy Tanaka. Nice to meet you. My *grandfather is Japanese. He lives in Japan, *so I came here. I like Japanese *culture very much. I *look Japanese, but I'm *American. I can't speak Japanese. Please use English in my class. Let's enjoy English together!"

Now I study English with her. She sometimes talks about *both Japanese culture and American culture in our class. Her English class is very interesting. I didn't like English very much. But ①I love English now. *I'm interested in America. I *want to go there *someday.

(1) 次の質問に対する答えとなるように、下線部に適する語、または数字を入れ、英文を完成させなさい。

ア 質問 When did Amy come to Japan? 一答え On September _____ .

中2 : 12. 3%

【正答例】 15 , 15 th
fifteen , fifteenth